

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能登町) 立 (柳田中) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (池田 一博)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の取組を理解している職員が半数以上残っていること。 ・ 生徒がタブレットでの作業に慣れていること。 ・ ほとんどの生徒がクラスルームの操作に慣れてきて、課題の提出や資料を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく赴任した職員が本校での取組に慣れなければいけないこと。 ・ 教科担当者が一人なので、同教科の教員との意見の交流ができないこと。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・ Googleの各ソフトの使用方法を文書提案や、C4thの連絡掲示板を利用し、共有する。不明点や、疑問点についても連絡掲示板やクラスルームを活用し、意見交換の場を設け、後日研修を企画する。 ・ 様々なソフトやアプリでの活用の幅を広げるために、実践例や良かった活用法を共有して、各ソフトへの理解と解釈を深める。 ・ 生徒会委員会ごとに少人数グループでの研修を行う。各委員会でアンケートやプレゼンテーションを作成する場面があるので、生徒に指導できるように同じ作業を行う教員同士で知識を深める。 ・ 相互に授業を参観することで、ICTをどのように活用し「学び合い」を行っているのかを共有する。また、使用方法が適切なのか意見を交流することでより良い活用法を考える。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全教員が「学びを深める」ために、Googleのソフトを使いこなし、クラスルームを通じて課題の作成や配付、提出、採点ができるようにする。 ・ アンケート調査の作成、集約、分析等の業務をICTを活用し効率化できるようにする。 ・ アンケートで集約したデータを文章にまとめて発表するなど、複数の機能を組み合わせて短時間で効果的に学びを深めることができる。 ・ 教科・領域の資質・能力の育成につながる最適な利用方法を探す。 ・ 生徒同士の学びをつなげる、深めるためにICTを活用する。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の現状を把握する。(全職員) ・ 前年度の取組と活用状況を確認する。(全職員) ・ 他校の良い取組を取り入れ、計画に組み込む。(池田) 	池田	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモート授業の方法、機器の設置方法を理解し使用できる。(全職員) ・ フォームを活用したアンケート調査の作成方法・集約方法の研修を行う。(全職員) 	池田	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ スプレッドシートを活用し、集約したデータから表を作成することや、管理方法を確認する。(担当職員) 	池田	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートをフォームで作成し、配布する。(担当職員) ・ 道德でのICT活用方法を検討する。(担任) 	池田 奥野	
中間目標	「知る・考える・使う・慣れる」というレベルに全職員が到達し、2学期3学期に授業で実践する準備ができる。		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭の準備をICTを用いて行う。(全職員) 	池田	体育祭
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での実践事例を共有し、効果的な方法を探る。(全職員) ・ 調べ学習のまとめや発表に活用する。(全職員) 	池田	文化祭準備
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭での効果的な活用方法(発表資料、配付物作成・情報の共有)を検討する。(全職員) 	池田	文化祭準備
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での実践事例を共有し、効果的な方法を探る。(全職員) 	坂口	文化祭
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での実践事例を共有し、効果的な方法を探る。(全職員) 	脇田	
中間目標	学びを深めるためにICTを活用できる。		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相互に授業を参観し、生徒の活動の様子や、学びがどのように深まるのかを確認する。(全職員) 	奥野	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相互に授業を参観し、生徒の活動の様子や、学びがどのように深まるのかを確認する。(全職員) 	柿平	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の活動の振り返りと、次年度の課題を考える。(全職員) 	池田	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能登町)立(能都中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(藤田 大介)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・生徒たちが当たり前で端末を活用し、日常の一部になっている。
- ・職員の実践が増え、その活用方法が、教科の枠を超えて、広がっている。

課題

- ・教員間での実践数(経験値)に差がある。
- ・適切な使用環境の整備、ルール・モラルの指導が行き届いていない。

校内研修のアイディア

- ・ICT活用に特化した研究授業・整理会・校内研修をする。
- ・教員間で、タブレット端末の活用法について学び合いを行う。(校内研修、GIGA通信、相互参観)
- ・ICTサポーターからの研修会や普段の授業でサポートを行ってもらう。
- ・外部講師を招き、効果的な活用についての講習会を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・教職員のICT活用指導力を高め、効果的に活用することができる。(単元で最低1回使用する。実践を共有)
- ・生徒が1人1台端末を活用して、協働学習を行い、自分の考えをまとめることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	校内研修①[全体] ・取り組みの共通理解・確認 ・新たな授業づくりについての参考資料[個人]	GIGA担当	
5月	校内研修②[全体] ・実践例の共有・研究授業・整理会[全体] ・新たな授業づくりについての参考資料[個人]	GIGA担当 研究主任	
6月	校内研修③[全体] ・研究授業・整理会、指導助言 ・ICT活用授業動画撮影(理科)	GIGA担当 研究主任	
7月	校内研修④[全体] ・各教科からの実践報告会(GIGA通信の活用) ・ICT支援員からの研修(他校の実践についてなど)	GIGA担当 ICT支援員	生徒集会
中間 目標	全教員が授業で端末等を活用し、その実践共有をする。		
8月	校内研修 1学期の振り返り 学力向上フォーラムでの成果の発信	GIGA担当 研究主任	学力向上フォーラム
9月	研究授業・整理会[全体] ICT先進校訪問	GIGA担当 研究主任	体育祭
10月	研究授業・整理会[全体]	GIGA担当 研究主任	能都中祭(文化祭)
11月	公開研究会[全体]	GIGA担当 研究主任	公開研究会
12月	研究授業・整理会[全体] 2学期の振り返り(GIGA通信の活用)	GIGA担当 研究主任	生徒集会
中間 目標	全教員が授業で端末等を効果的に活用し、生徒の学びを深める。		
1月	研究授業・整理会[全体]	GIGA担当 研究主任	生徒集会
2月	研究授業・整理会[全体]	GIGA担当 研究主任	
3月	研究授業・整理会[全体] 次年度に向けての振り返り(GIGA通信の活用)	GIGA担当 研究主任	

(3)令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

目標の達成に影響を与える現状	
＋(強み)	－(弱み)
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から継続して実践している教員がいる。 ・ICT機器の活用に意欲的な教員が多い。 ・タブレット端末を活用することで、生徒は意欲的に授業に取り組んでいる。 ・基本的PC操作が身に付いている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間での活用頻度の差がある。 ・どのようにタブレットを活用するとよいか具体的なイメージを持ってない教員が一部いる。 ・ICT機器の効率的・効果的な活用に向けた取り組みを進める必要がある。



校内研修のアイデア
<p>①学校研究「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」と連動させた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話や振り返りの場面等で、タブレット端末の効率的・効果的な活用法を共有し、実践につなげる。 <p>②GIGA研修(校内リーダーによる研修)の計画的実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践発表や実践報告書をもとに、互いの実践を共有し共通実践につなげる。 <p>③GIGA出前サポートの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科等の授業での具体的・効果的な活用例を学ぶ。 ・本校の取組について指導助言いただき、次の実践に生かす。



目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が、授業で効率的・効果的にタブレット端末を活用している。 <p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ①タブレット端末を自分の物として用いて、学び合い高め合おうとしている。 ②総合的な学習の時間や特別活動において、プレゼンテーションソフトなどを用いて、発表やプレゼンを行っている。 ③家庭学習や休み時間などで、自分のタブレット端末を用いて自主的に学習をすすめようとしている。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[個人研1] ステージ1・2・3必須動画視聴 [若プロ1] GIGAスクール構想とはなぜ、今ICT活用なのか [GIGA研1] タブレット端末の操作方法・活用法について今年度の目標を共有する	推進リーダー 若プロ担当 推進リーダー	第1回GIGA校内推進リーダー研修
5月	[校内研1] 研究授業① [GIGA研2] リーダー研修の還流① 実践発表の交流①	研究主任 推進リーダー "	
6月	[校内研2] 研究授業②・公開授業① [GIGA研3] 実践発表の交流②	研究主任 推進リーダー	
7月	[校内研3] 研究授業③ [GIGA研4] GIGA出前サポートの活用 [個人研2] 実践報告書作り①	研究主任 推進リーダー "	
中間目標	「(教員・生徒の双方が)活用し、操作に慣れる。」 ・授業の中でスライドやJambord、スプレッドシート、form等を積極的に活用する。 ・クラスルームや共有フォルダ機能を活用し、生徒会活動など授業以外においても用いる場面を作る。		
8月	[GIGA研5] 実践報告書の交流①	推進リーダー	
9月	[校内研4] 研究授業④ [GIGA研6] リーダー研修の還流②	研究主任 推進リーダー	第2回GIGA校内推進リーダー研修
10月	[校内研5] 研究授業⑤・公開授業② [GIGA研7] 実践発表の交流③	研究主任 推進リーダー	
11月	[校内研6] 研究授業⑥ [GIGA研8] 実践発表の交流④	研究主任 推進リーダー	
12月	[校内研7] 研究授業⑦ [個人研3] 実践報告書作り②	研究主任 推進リーダー	
中間目標	「ICTを用いて適切に対話的な学びの支援を行う。」 ・実践事例を共有しながら、対話的な学びの改善につなげる事ができる。 ・Gsuiteアプリの機能を概ね使いこなしている。		
1月	[校内研8] 研究授業⑧ [GIGA研9] 実践報告書の交流②	研究主任 推進リーダー	
2月	[校内研8] 研究授業⑨ [GIGA研10] 実践発表の交流⑤	研究主任 推進リーダー	実践報告の提出
3月	[GIGA研11] 今年度の振り返りと来年度に向けて	推進リーダー	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 毎週決まった曜日の朝活にGIGAの時間を設けたことで、定期的にタブレット端末に触れる機会を創出することができた。 教科に応じた活用の実践を試みようとする教員が増えた。 オンライン授業が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 協働学習の場面での1人1台を生かした端末の活用ができていない教員の割合が低い。 教師の活用頻度に差が生じている。

校内研修のアイデア

重点目標(めざす生徒像)

学び合い

認め合い

輝き合い

- 自ら粘り強く考え、互いに高め合いながらよりよく課題を解決できる生徒
- 自他の良さを尊重し合い、「他者を思いやる心」と「感謝する心」を持ち、人や地域に貢献できる生徒
- 明るい挨拶と笑顔にあふれ、チャレンジし続けることで共に輝く生徒

研究主題

自ら学び、共に学び、豊かに学ぶ、自律型学習者の育成を目指して
～生徒の「学び」をつなぐ授業デザイン～

〈研修方法〉

- ・著作権、情報モラル・情報セキュリティに関する理解を深めるための研修を教職員、生徒に実施する。
- ・生徒の個人思考を手助けするツール、学びの振り返りや記録をするツールの提案と演習を実施する。
- ・生徒の思考を可視化したり、共有するツールの提案と演習を実施する。
- ・実践の共有を行う機会を設定する。(理想は普段の職員室での会話で成功談、失敗談を語り合う。)
- ・GIGA推進リーダー&ICT支援員への質問コーナー(フォーム)を設定する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

☆教員

- ① 著作権に留意して授業を行うことができる。
- ② 各々の生徒が考えもつためのツールの1つとしてタブレット端末を活用させることができる。
- ③ 全教員が生徒の「学び」をつなぐツールとしてタブレット端末を活用させることができる。

☆生徒

- ① 著作権、情報モラル・情報セキュリティに留意してタブレット端末を利用することができる。
- ② 各々の生徒がタブレット端末を活用して問題解決を図ろうとすることができる。
- ③ 思考したことを表現するツールの1つとしてタブレット端末を活用することができる。
- ④ 学びを記録して残すことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[全体研修]今年度の研修の充実に向けて [朝活研修]著作権、情報モラル・情報セキュリティについて [ミニ研修]公開授業	GIGAリーダー ICT支援員 研究主任 若手教員	4月25日(月) GIGA推進リーダー研修
5月	[ミニ研修]公開授業・研究授業 [ミニ研修]学びの記録(主体的に学びに向かう態度の評価)の充実について	GIGAリーダー ICT支援員 研究チーム 若手教員	5月17日(火) GIGA推進リーダー研修 5月24日(火) 指導主事計画訪問A
6月	[ミニ研修]Googleアプリの活用① [ミニ研修]Googleアプリの活用②	GIGAチーム ICT支援員	6月6日(月) 新たな授業づくり研修 アンケート回答メッ
7月	[ミニ研修]Googleアプリの活用③ [全体研修]GIGA出前サポートの活用①	GIGAチーム ICT支援員 研究チーム	
中間 目標	①著作権に留意して指導にあたることができる。 ②タブレット端末を活用した振り返りやフィードバックをすることができる。 ③授業でGoogleアプリを個人思考の場面等で活用することができる。		
8月	[全体研修]実践報告会① [推進チーム]町GIGAリーダー実践報告会①	GIGAリーダー ICT支援員 町GIGA推進	
9月	[ミニ研修]GIGAリーダー研修での学びの還元 [ミニ研修]公開授業・研究授業	GIGAリーダー ICT支援員 研究チーム 若手教員	9月13日(火) 指導主事計画訪問B 9月14日(水) GIGA推進リーダー研修
10月	[ミニ研修]協働学習でのタブレット端末の活用について① [個人研修]実践&共有	GIGAチーム ICT支援員 若手教員	
11月	[ミニ研修]協働学習でのタブレット端末の活用について② [ミニ研修]公開授業 [個人研修]実践&共有	GIGAチーム ICT支援員 研究チーム 若手教員	
12月	[全体研修]GIGA出前サポートの活用② [個人研修]実践&共有	GIGAチーム ICT支援員 研究チーム 若手教員	
中間 目標	①思考の場面でツールの1つとして、各教科の特性に応じたタブレット端末の活用ができる。 ②協働学習の場面でタブレット端末をツールの1つとして活用することができる。		
1月	[全体研修]実践報告会② [推進チーム]町GIGAリーダー実践報告会② [ミニ研修]公開授業	GIGAチーム ICT支援員 若手教員	1月26日(木) 指導主事計画訪問C
2月	[ミニ研修]協働学習でのタブレット端末の活用について③ [ミニ研修]公開授業 [個人研修]実践&共有	GIGAチーム ICT支援員 研究チーム 若手教員	2月24日(金) GIGA実践報告提出メッ
3月	[全体研修]1年間の振り返りと来年度に向けて	GIGA推進 ICT支援員 研究主任	